

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-199320 (P2020-199320A)

【公開日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)

【年通号数】公開・登録公報 2020-051

【出願番号】特願 2020-156090 (P2020-156090)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 28 日 (2021.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正面側に遊技領域を有する遊技盤と、その遊技盤の正面側に配設させるための第 1 部材と、その第 1 部材の正面側に所定の間隔を隔てて配設され、前記第 1 部材との対向間に遊技球を流下可能にする第 2 部材と、を備える遊技機において、

前記第 1 部材または第 2 部材の少なくとも一方に配設される所定部と前記第 1 部材または第 2 部材の他方との対向する間隔を変更する変更手段を備え、

前記変更手段によって、第 1 状態と、その第 1 状態とは前記第 1 部材および第 2 部材の対向間を流下する遊技球の流下方向が異なる第 2 状態とを形成可能であり、

前記変更手段は、前記間隔が第 1 の間隔に維持された状態と第 2 の間隔に維持された状態とを構成可能であり、

前記所定部は、前記第 1 部材に配設され、

前記第 1 状態または第 2 状態の少なくとも一方では、前記所定部と前記第 2 部材との対向する部分が非平行とされることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機において、流下する遊技球の流下方向を変更する遊技機が知られている（特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上述した遊技機では、流下方向の変更に改善の余地があった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0005
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0005】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、流下方向の変更を改善できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、正面側に遊技領域を有する遊技盤と、その遊技盤の正面側に配設させるための第1部材と、その第1部材の正面側に所定の間隔を隔てて配設され、前記第1部材との対向間に遊技球を流下可能にする第2部材と、を備えるものであり、前記第1部材または第2部材の少なくとも一方に配設される所定部と前記第1部材または第2部材の他方との対向する間隔を変更する変更手段を備え、前記変更手段によって、第1状態と、その第1状態とは前記第1部材および第2部材の対向間を流下する遊技球の流下方向が異なる第2状態とを形成可能であり、前記変更手段は、前記間隔が第1の間隔に維持された状態と第2の間隔に維持された状態とを構成可能であり、前記所定部は、前記第1部材に配設され、前記第1状態または第2状態の少なくとも一方では、前記所定部と前記第2部材との対向する部分が非平行とされる。

【手続補正6】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0009
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0009】

請求項1記載の遊技機によれば、流下方向の変更を改善できる。

【手続補正7】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】4266
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【4266】

10	パチンコ機
13	遊技盤
13564, 32564, 50564, 51564	正面板（第2部材）
13571, 32571, 50571, 51571	ベース板（第1部材）
13571b, 32571b, 50571b, 51571b	第4凸部（所定部）
13571c, 32571c	第5凸部（所定部）
32573b	調整孔（変更手段）
32950	螺合板（変更手段）
SI	シム部材（変更手段）